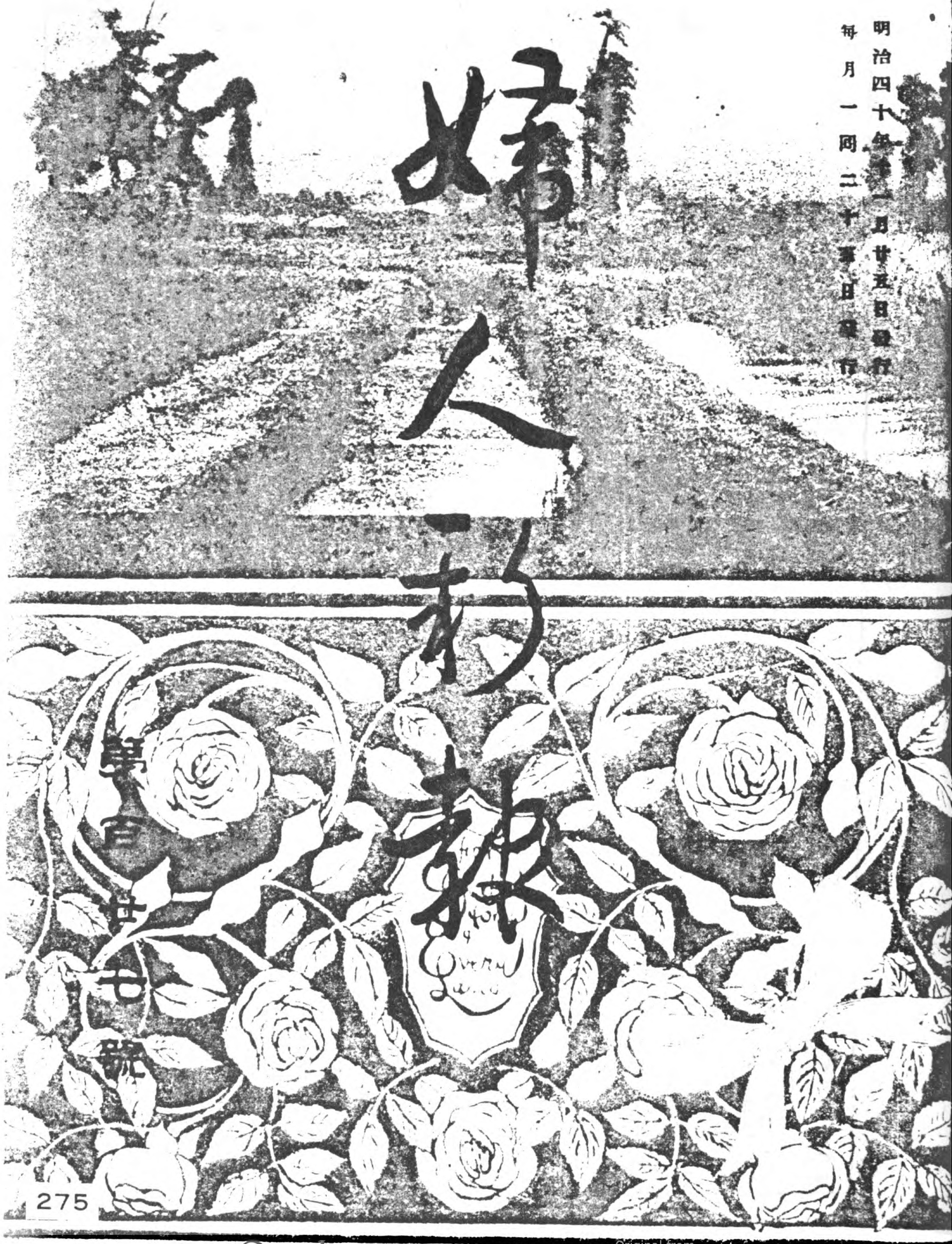
WOMAN'S HERALD



婦人新報

明治四十年十一月廿五日發行
毎月一回二十五日發行

第百廿七號

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿七號

目次

社説
謝
聖書と醜業婦　山室軍平君
時事數件
飲酒問題と婦人との關係(譯述)　片山博士
ルート夫人の書簡
函館の大火災に義捐されし諸氏に
青年部
　仙台百助館青年部
　麻布英和學校青年部
　小事に忠實なれ　一青年女
婦人矯風會記事
本部　弘前、上毛聯合婦人矯風會、前橋横濱
社告
廣告

社告

◎婦人新報定價(郵稅共)

一　部(前金)　金六錢
六　部(前金)　金三十五錢
十二部(前金)　金七十錢
(郵券代用一割增)

◎廣告料

一行(五號活字)　金十錢

明治四十年十一月廿四日印刷
明治四十年十一月廿五日發行

發行兼印刷人　本多テイ
編輯人　小崎チヨ

發行所　婦人新報社
東京府豐多摩郡澁谷村
元青山南町七丁目一番地

編輯及發賣所　本鄉駒込蓬萊町三十一番地

No. 127. NOVEMBER 1907.

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

Thanks giving.

The Bible and bad woman.

Current eovents.

A close connection between a woman and an Alcohol.

News from Mrs. Root.

Y. Branch.

W. C. T. U. NEWS.

Headquarters, Hirosaki, Jōmō, Maibashi, Qokohama.

ADVERTISEMENT.

FUJIN SHIMPO OFFICE.

No. 31, Horaicho, Hongo, Tokyo.

70sen per Annum. Single Copy 6sen.

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百二十七號

(明治四十年十一月廿五日)

感謝

秋更けて野邊は霜枯の寂しい頃となりましたが農家はのどかなる春の氣にみちて歌ふ聲さへ泰平を音づれる様に思はれます珍らしい洪水に人も我も收穫を怪みて豐ならぬを氣遣ふて居りましたが天の配劑は私共の想像の出來ない處にありまして收穫は豐かに辛勞も困苦も夢となつて到る處に感謝の聲を聞くので御座います一粒の米にも四十何回と云ふ人手を要すると云ふ事て日毎に食膳に供へらるゝいと小さき副食物に至るまで感謝の種とならないものは御座いません然れば我國にも神嘗祭と申して昔から新らしき實物を神前に奉りて感謝のしるしをいたします何處にも斯様な祭が御座いまして心行くばかり四季を司り之を支配し給ふ上帝に感謝いたします兎角人間は物足りて幸福である時には感謝いたすのを忘れてもの足らぬ様になりますと初て足りた昔を思ひ出して今の境遇に不滿をいだくので御座います自分の慾望を滿さうと思つて心を千々に碎き感謝の念を起さない人程神様に不孝で又これ程世に不幸なものは御座いません「足らざるを足らずとする之れ足なり」と申しまして私共の忠實なる生涯は此念から起るのであると思はれます一年中て尤も豐かに惠まれる此季に際しまして特別に感恩の念が起ります私共が及ばずながら日々に播き行く小さき種も時には人様の心に芽萠しまして穫り入れすべき幸なる結果を見まして感謝いたすに如何なる言葉を用ゐてよいか分りません天が私共に與ふる恩惠は心から感謝いたしても尙ほ其半にも至りません貧富賢愚は皆天が私共に賜はる惠で其のいづれをも問はず感謝いたし自分の出來得る丈を盡すべきて御座います私共に眞心さへあればよし智識がなくとも學才がなくとも將た位置財寶がなくとも凡ての事を解決する事が出來得るので同時に感恩の念が盛に起るのであると思ひます偉大なる人の心には常に感恩の情が滿ちあふるゝので昔しから史上に顯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

はれて居る立派な人々また隱れたる所にあつて德を行ふて居る人々の生涯を讀みまするど必ず兩親に朋友にまた自然に對して非常に感謝の情を燃し何とかして其恩に酬いたいと熱望する其美はしき光を認めるので御座います沙翁のリア王の悲劇をお聞きになりましたお方は其二人の娘等の忘恩の甚だしいのに驚きになりませう其奸惡魔の樣な妖婦等の最後は如何でしたてせう天の正道は決して斯樣なる人々の悖德なる行爲を見逃はいたしません天の恩惠に何等の感も持たず無頓着に過ごす人はまた其報を受けます私共は斷えず感謝し絕えず報恩の情に滿ちて居らなければなりません

眞實なる心は神が人間にのみ與ひし賜物を愛するなり

聖書と醜業婦

山室軍平君述

未熟な私が斯う云ふ大切な會の席末を汚すことが出來ましたことを非常に榮譽と存じます、私自身には成る丈け柄の無いことを申上げることを避けたいと存じますので題を尋ねられました時に「聖書と醜業婦」と御答いたして置いたのであります、

此頃評判の高い米國大統領ルーズヴエルト氏が或時に聖書出版事業の爲め集會に臨んで演說をして申されますのに聖書が基督信者として讀むべき必要の書物であるのみならず一個の市民として是非讀んで心掛けなければならぬ書物である、聖書を能く讀破るといふことは人をして艱難辛苦を凌いで各々の立場より神の榮光を揚げる爲に働かしむるものである、夫故に自分は普く米國の人民が一層深く一層廣く精しく聖書を愛讀するとを望むのであると、さう云ふ風に申されました、是はルーズヴエルト氏一人の事ては無いと思ふのであります、昔から今日まで一卷の聖書を本當に能く讀みまして其精神を會得しました爲に稀なる世を益する働きをした人も少く無いことゝ思ふのであります、其點に付て今私は澤山な事を言つて居る暇は無い唯私は自分の頭に浮びました幾人かを列立てれば足る、マルテンハーテルが宗教改革をいたしましたに付て唯

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一の手援として居つたものは申す迄も無く聖書てあります、ジョンバルトが監獄改良を致します時に教を受けて居つた書物は聖書てあります、エリザベスフライが四人に傳道に行く時に何より大事なものとして必ず携へて居つたものは一卷の聖書てあります、リンコルンの奴隷廢止に於きましても同樣てあるグラッドストン、リンコルンの如き人々は悉く一卷の聖書を繙いて、其中から大切な教を受けて居るものてある、して見ますれば殊に自分一個が教を受ける丈けぢや無い之に依つて世を改め人を益する學問をして居るものてあります、と致しますれば醜業婦といふ如き問題に付て適當な教を受けまする爲に、私の如き者は他に據るべき道を知りませぬから立戻つて毎日愛讀する總ての者に良い導きを與ふる所の聖書に反へるといふことは自分と致しては一向無理の無い事と自分て自分を容赦して居るのてありますそれては聖書といふ書物が醜業婦その者に對しどう云ふ風に教を垂るゝてあらうか、私は之を自分の勝手に讀みました又研究しました結果に合せまして成る丈け今の世の中に付て私の知つて居ります限の範圍に於て實際の問題に當篏めて一つ學んて見たい、聖書を讀んて先つ一番に醜業婦といふやうな問題てありますが、その問題に付てどう云ふ風に認めるかと云ました時に私の眼に映するところのものは醜業婦といふ者は昔から存在して居つた者といふ事は聖書の歴史の上に見へて居るやうに思ふのてあります、聖書に精しい方も何に是丈けの中には澤山御集りになつて居る事と思ふ、マコブといふ人が居りまして娘の一人を信者にしたといふ事てありますその娘は或時天幕を移して歩いて或村を見物いたしました所が、參つて居ります其國の王子に愛せられたといふのてあります慕はれたのてありませうが親の許の無い間てありまして見物に行つた先から連れて行かれて仕舞つて辱を受けたといふ事があつた、其時にヤコブの息子達以外婦人の兄弟まてが非常に憤慨致しまして刀を抜いて行つて自分の妹を辱めました人、及其一族、其村に居ります人々を殺して仕舞つたのてあります、餘りやり方

が酷いぢや無いかと咎めました時に答へて、彼豈わが妹を遊女の如くになして可ならんやと申して居る、聖書の中大分私のザッと見たところて遊女といふ言葉の出て居ります一番始は彼處であつたとか思ふ、私は聖書の中からヤコブに關する記事を學んで參りました時に先づ一番に私の眼に付ましたことは聖書に醜業婦といふものが非常に古代から有つたもの丶樣に書記してあるといふ一事であります、何も聖書から別段學ばぬても何處の國の歴史に於きましても古い時代から斯う云ふやうなことは發見するのであります、唯、聖書に就て醜業婦の問題を考へる時に私の眼に付くことは成程醜業婦はズッと以前から有ったといふことは聖書に限らない、澤山書物の中に書いてあるやうに見へる、又さう云ふ醜業をして居った人が多い樣に見へますけれ共、唯、私が思ふに聖書が他の書物と違ふところはさう云ふ時代に逸早く男女の間に純潔な德を保たぬければならぬといふことを考へて居ることを發見するのであります、支那の昔の聖人も或は希臘あたりの學者の事も私は知つて居るけれ共先づ醜業婦などに戯むれて宜いものと思つて居る、何しろ一夫多妻を以て善い事と心得て居る、さうして聖書は一夫一婦の德を要求して居るといふ迄は最注意すべき點と思はれます、

先づ創世記の話を擧げませう、神樣が男の肋骨を取つて女を作つた、頭の骨では無い、だから無茶苦茶に行つて男子にお辭義をするのが宜いのかも知れぬ、けれ共それと同時に足の骨から取つた譯ぢや無いから踏付けるといふことは出來やう筈が無い是は神樣が同等な者を御作りなすったものと見ることが出來る、それから又肋骨で作ったといふことは男子が自分の手を以て弱い婦人を保護すべきものだといふ意味が現はれて居る、又肋の骨と云へば心臟に近いから愛といふ觀念の間、殊に夫婦の間の親みをなすべきものであるといふ事を説いた人がございますマアそれは基督敎の大きな事でも無からうが、兎もあれ聖書中に於て古くから一夫一婦の區別が敎へられて居るといふことは見逃すこ

とが出來ない、夫故にモーセの十戒の中にも奸淫する勿れといふ御言葉は非常に力のある叫聲で、あの時代から今に至るまで不道德不品行の人々を警められたゝり半鐘の如くなって居る所以であると思はれます、

(未完)

時事

○俳優市川高麗藏の醜聞　吾人は我國の俳優の多くは品性下劣にしていまはしき風評の主人公たるを數々耳にするを以て彼等が演ずる劇に對しても一種厭惡の念を懷き居れり此回彼等の首席を占むる高麗藏なるものゝ醜行紙上に傳へらるゝに及んで吾人は事實の眞否を知る能はずと雖も彼等如き劣等なるものゝ貴夫人間に往來し其風紀を攪亂する如き行爲に對し項門の一針なると共に世の貴夫人令孃等が大に警戒を加へられむ事を切望してやまざるなり

○倫敦市長が十三日を以つて、今回倫敦に入らせられし獨逸皇帝を御招待申し上げて午餐を奉りし際、英國の社會黨員勞働者の一隊約千五百名の一團がタワー丘に集合して「倫敦市が歐洲の最も舊式なる最も頑冥なる主權者の爲めに饗宴を催したるは不名譽なり」との意味の決議を爲して市長の行爲に反抗し、且つ示威行列を行ひて獨帝の鹵簿を遮らんとしたる暴擧は、元々些細の出來事として、英獨兩國の交情に影響を及ぼすが如きこと無く、寧ろ社會黨員等が時と場合とを顧慮せずして、大切なる國賓を侮辱せんとしたる輕擧を憐む人多かる可しと雖も、此の一事が佛國大統領の倫敦訪問の際に行はれずして、獨逸皇帝御滯留の時に行はれたるの事實は、全く注目の價無しと云ふ可からず。スコット提督の信號問題と云ひ、今回の事と云ひ、英獨兩國の關係が今假に國民とを結び付けたる準同盟の膝膠も只ならざる間柄には進む能はざるを見る可きか

飲酒問題と婦人との關係 (婦人衛生掲載)

酒と婦人との關係と申しますと、寔に縁の遠い問題のやうに或はお考へになるかも知れぬと存じますが、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

能く御考に成りますと決して縁の遠いものでない、唯關係が直接でなくして間接であるのみのことでございます、今日歐洲に參つて見ますると、婦人が餘程此飲酒問題に注意を致しまして、或は酒害豫防を目的とする婦人の團體も出來て居り、社會に於ける酒の害を防ぐ爲には婦人も一臂の力を假さなければならぬ、是は婦人の義務であると云ふやうな意氣込でございまして、中々盛んであります、此酒の害を防ぐのに一番有力のものは何であるかと云ふに、宗教家の説教でもなく、又學者の話でもない、私の考では各國人口の半を占むる婦人の力と、未來の國民なる青年少女の力、此二つの力が酒の害を防ぐに一番有力なるものと信じて居るのであります。

それ故に今日飲酒問題と婦人との關係と云ふ題を掲げた次第でございます、餘り學術に立入つたことは却て御迷惑と考へますから極く通俗のことの外申上げぬことに致します。

先づ酒と云ふものは如何なる國でも飲まぬ所はありませぬ、或は未開野蠻の處に於て酒の無い處がありましても一度酒を輸入して其味を覺へますると皆な好んて酒を飲む、是が爲に野蠻人種は段々に其種族が減少して遂には人種の滅亡に向ひつゝあると云ふ有樣であります。

酒は必要なものであるや否やと云ふに、宴會の時には酒は必ず附物であります、祝ひの席にも酒が出る、お祭りのときにも御神酒が入用であります、此の如く社會の風俗上酒は必用なものであります、併し衞生上必要なものではない、新聞の廣告などを見ますと、葡萄酒は胃を強くするとか何とか色々の効能を述べ立て丶大層身體の爲めに良いやうに出てありますが、段々學者の研究したる所の結果に依て見ますると左程効能のあるものではない飲まぬは飲むに優ることは疑もない事實であります、人類の爲には酒は無い方が宜いのです。

西洋では麥酒のことを液體の麪包であると申して麥酒を麪包同樣の滋養物のやうに申傳へて居りますが、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

果してさうであるや否やと云ふに成程麥酒の中には多少の滋養分は含んで居るに相違はありませんそれも之を小麥の粉に比較すると、小刀の先で少しく抄つた位の麥の粉と、コップ一杯の麥酒と滋養分の量は同じ位でありますから團子一串だけの滋養分を麥酒で取らうとすると麥酒の半ダース位は飲まずばなりますまい、よしんば價は問はずビールでそれだけ滋養分を取るにしても之と同時に澤山のアルコールを飲のでありますから、其利害を篤と考ねばならぬ事である、寧ろ團子の無害にして而も安全なるを取ること智者の行爲であらうと思ふ、兎に角此の如き次第でありますからビールは液體のパンだ等と稱贊する程の價値はないものであります、其外の酒には殆ど全く滋養分は含まれて居無いのであります、次にアルコール其物には滋養の効があるや否やと云ふに是は無いのであります、酒を飲むと呼吸が早くなる、心臟の働きが早くなる、斯の如く心臟の働きや呼吸の上に影響するのは是れ心臟や肺臟の働きを助ける酒の効能のやうに考へる人もありますが、決してさうではない、是は無益に呼吸を早くし又無益に心臟を早く働かするので一向に必要の無いことであります、上戸は兎に角下戸は苦い思ひをするだけが損、決して心臟の爲になり肺臟の爲になるとか云ふことはないのであります。

寒いから一杯飲まうと云ふことは常に酒を飲む人の申すことでございますが、是は實際身體が溫かくなるのであるか、即ち溫度を增すのであるかと云ふと事實は反對で、酒を飲んで體溫が增すと云ふのではなくして多く飲めば却て減る、少量の時は夫程の影響はございませぬが、兎に角、體溫の增すことはないのに寒さ凌ぎの爲めに好んで酒を飲むのはどう云ふ理屈であると不審に思ふ人もある、此不審は一理あることにて、成程酒を飲めば一時は溫かく感ずる、是は皮膚の血管が擴つて來るのであります、常には蒼い冷たい顏の人でも酒を飲むと顏が赤く且つ溫かくなる、寒い時には皮膚の血管が狹く成る、狹くなれば血が少くなる、それて皮膚の色が蒼白くなるが酒を飲むと血管が廣くな

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る、血管が廣くなれば血が多く其處へ這入つて來る、そこで皮膚が赤くもなり又溫かくも感ずるのであります、斯く血管の廣くなるはアルコールの働きであります、血管の廣くなるのは即ち麻痺するのでありますから假令一時皮膚が溫く感じても實際體溫が增すのではない、身體の内部にある血が表面の方へ來る丈のことであります、多量に酒を飮めば飮まないより體溫の減るのは何う云ふ譯であるかと云ふと、皮膚に血が多く注いで來ると此皮膚の外面より溫度を空氣中へ放散する其結果は即ち體溫の減少となるのであります、大酒した後寒暖計で計つて見ると、體溫の往々飮まない時より減つて居るのは此譯です、暖國の者は存じませぬが寒國に住まつて居る者は此事を能く承知して居ります、日本でも北國の人は承知して居りまして、大雪の降る頃に酒を飮んで外へ出るのは危險であると云つて居る、是は實際危險であります、飮まないでも雪の中に埋められて凍へ死する者は往々ある、が殊に飮酒家に凍死の多いのは酒を飮んだ爲めに體溫の放散減少するからであります、西比利亞、露西亞、何處へ往つても北國の人民はよく此寒中飮酒の危險を知つて居ります、酒を飮んで轉寢をすると風を引き易いのも同じ道理であります、斯う云ふ譯で酒を飮んで溫を增すと云ふことは實際に於て無いことで、そう思ふのは全く酒にだまされて居るので、疲れて居る時に酒を飮むと一時仕事が又出來るやうになる、是も力が增すのではない、力の增したやうな感じがするのみである、實際は酒を飮むと總て感じが鈍くなる、即ち麻痺するのであります、勞働者が疲れた時に酒を飮むと其疲れの感じが鈍つて來るから疲れて居ても其感じを覺えなくなるから仕事をしても一時は其疲れを感覺せずして實は無理な仕事が出來るのであるが、疲れとは元來身體の使ひ方が度に過ぎたと云ふことの信號でありますから其以上無理に使へば身體の害になるは當然である、其疲れのあるにも拘らず酒の爲めに感覺が鈍くなるので、身體に害あることには氣が付かずして十五分か二十分間は、無理にも働けますがそれより以上の時間を經過

すると、今度は前の疲れに數倍した疲れを覺へて來るのであります、試驗をした結果酒を飮んで力量の增すことは實際に於て毛頭無いと云ふことが證據立てられてあるのであります。

斯の如く種々に研究を致して見ますると、酒を飮むことには何の利益も無いことは明なのであります、それにも拘らず酒を好んで飮む人の多いのは何が故であらうと云ふ疑問が人々の腦裡に起ります、それは味の善こと及び口より咽喉を通つて胃に這入つて往くまでの間に何とも云へぬ好い感じがするからであります、上戸の口には下戸の知らぬ好い味がする、味と云ふよりは寧ろ一種の刺戟であります、それから後には多少醉って來る、其醉の初に於ては極めて精神が爽快になります、精神が爽になつた時の快感と、此快感と彼の刺戟、此二つのものが酒客の忘れんと欲して忘るゝことの出來ぬ魔力を有して居るのであります、世人をまみするアルコールの怪方は此二つの外には無いのでありますから酒は決して必要物であるとは申されぬのであります。

さう云ふことが段々明かになりましたから、獨逸などに於きましては以前は兵營の中に兵士の飮料として必ず酒が備へてあつたものであるが、獨逸皇帝は之は必要物でないことをお感じになつて、軍隊に給與し來りたる酒を廢しその代りに將來珈琲を用ひよと云ふ勅命がありました、それ以來獨逸の兵營には酒を備へることは廢しになった、是は今より三十年も前の話であります、獨逸帝は斯の如き點に迄深き注意を拂つて居られます、兎に角酒は人生に必要な物で無いと云ふことは明白なる事實であります。

それでは如何に少量と雖も害てあるか毒てあるかと云ひますと、決してそうてはないのであります、例へばアルコール漬け又は粕漬の食物位のものは召上っても決して害にはならぬ、然らば何の位以上は可かぬ、何の位迄は宜いかと云ふことは酒を飮む人から往々聞かれることてありますが其分量は極めて申すことは出來ませぬ、其極められぬ理由は人に依て感じが大變に

逢ひます、即ち一升飲んでも平氣な人もあり、小さい盃に一盃飲んでも眞赤な顔をして苦しむ人もある、人に依て大變に感じが違ひますから、幾ら以下は宜い幾ら以上は惡いと云ふことを極めることは不可能であると、お答するのが眞に正直な答であります、西洋の書物に於てもアルコールの飲量五瓦迄は宜い、或は十五瓦、多いのは三十瓦迄は宜い等と色々に書いてあります、是は人々に依て違ひますので三十瓦で宜い人もありますが又十五瓦でも多過る人もあるのであります、決して一樣には申されぬのであります、世の中に徹頭徹尾毒であると云ふ物は一つも無いのであります、どんな激しい毒でも少量ならば決して毒にはなりませぬ、先づ毒物の中で青酸と云へば猛毒の一つである、青酸瓦斯を嗅げば直に卒倒する、それ位毒性の强いものでも水に溶して淡くすると藥となる、咳の出る時之を止る藥には青酸を含んで居る藥品を日常用ひて居ります、多量に飲めば毒になるが少量では毒には決してなりませぬ、アルコールの毒も其通りて人々に依て分量に相違がある、それでは自分は酒は强いから澤山飲んでも宜いかと云ふに、夫は大間違である、如何に抵抗力の强い人でも澤山酒を飲めば遂ひには害を蒙むるやうになる、强いからと云ふて澤山飲んでは矢張可けないのであります、弱い人の飲む酒は尚更可くない、少し飲んでも頭痛がする、寒氣がする、眩暈がして起きては居られぬと云ふ、斯う云ふ人は酒に對する抵抗力が弱いのでありますから少量の酒を飲んでも既に中毒を來たします、それであるから下戸に酒を勸めると云ふことは好い欵待ではなく、其の人に毒となるものを强ひるのでありますから甚だ宜しくないことであります、さう云ふ酒害の實況を知らずして宴會の席などで私がお酌をしますから今晩は是非御飲み下さい等と辭巧に酒を强ゆるのを以て最上の欵待と心得て居る人もありますが、是は實に愚な人であります。

酒の害にも色々ありますが、之を大別致しますと凡そ二通りになります、一は直接の害、二は間接の害であります間接の害と云ふのは遠廻しに來る害でありま

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す、例へば酒の爲に種々の病氣に對する抵抗力が弱くなる、さうすると又その病氣に罹り易くなるから酒客は肺病にも心臟病にも腦病にも何病にも多く罹るのである、之が間接の害であります、其害の急に現はるゝ時即ち急性中毒の時には誰にでも氣が付きますが慢性の中毒とか間接の害には人が氣付かずに居ることが多いが始終酒を飲んで居りますと其結果として氣質が幾分か變つて來ます、遂には溫厚な忍耐强い人も癇癪持になり、人との約束に背いても氣にせぬと云ふやうになるのはアルコール中毒の始めてあります。所謂酒客氣質と云ふのは即ち是てす。

又胃が惡い、腸が惡い、手足が痛む振ふ、斯う云ふことになつて來れば是は皆酒の中毒が現はれて來たのて之が慢性のアルコールの中毒であります併し此中毒は早く氣が付て適當な治療をすれば大抵は癒ります、然しアルコール中毒の起つて居るにも拘はらず尙續けて酒を飲むと遂には不治の不具者となるのみならず、生命等も之が爲に餘程短くなる事は明かてあります、殊に其點に至りましては、アルコールの直接の害よりも間接の害が恐しいのであります、最近の酒毒硏究の進步の實況を知らぬ人は醫者であつても其間接の害がそれ程著しいと云ふことを知らずに居る人がある、さう云ふ人に酒のことを聞きますと、ナーニ少位は宜いと云つて酒の害を左程氣にせぬ人が醫者の中にも澤山あります、それてありますから一般の人々に於てさう云ふ考への多いと云ふことは實に止むを得ぬことてはありますが此間接の害は極めて恐ろしいものてあります、から世人の一般に大に注意すべきことてあります是迄新聞などに虎列剌が流行するとか赤痢が流行すると云ふ時にはその豫防に葡萄酒がよい等と云ふ廣告を見たこともあるが、是は全くの正反對て酒を飮めばコレラにも赤痢にもペストにも罹り易くなり又外の疾氣にも罹り安くなるので防ぐと招くとの相違があります、肺結核に罹る者及び其死亡數は共に酒を飮む人に多い、此は統計表に依て疑ふ可らざる事實てあります然るに少し肺病の氣味てあると滋養の爲に毎日葡萄

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

酒を飲むなど〻云ふ人が未だ中々多くあるやうだが此等の人は氣の毒なことには肺病を豫防する積りて實は招いて居るものであります、酒を飲と中風に罹ると、云ふことは素人でも知つて居る、あれは腦の血管が酒の爲に惡くなつた結果である、血管は護謨のやうな彈力のある柔かなものでありますが屢々酒を飲むと追々に剛くなり、終ひには古護謨か竹筒のやうになつて來るさう云ふ血管は寔に裂け易いから、腦の血壓が少しく高くなると容易く此血管が破れて血が出るのであります、是れ即ち飲酒が中風の下地を作る所以であります此間接の害は世人も多少氣が付いて居るやうであるけれども肺結核が飲酒に多い、心臟病、精神病もさうであると云ふことには未だ世人の注意が少いやうである生命保險會社などは最も能く斯ふ云ふことを知って居らなければなりませぬ。

近頃に保險會社の最も恐れるものは酒であると云ふことに氣が付き掛つたやうではる兎に角飲酒と死亡數との間には世人の豫想なる大關係のあるものであると云ふことが追々明瞭に成るに從つて保險會社は是迄酒の爲に大變多くの保險金を拂はされて居たと云ふことが分って來たのであります。

婦人方乳の出方の減ずるのも亦間接の酒害の一つで歐羅巴では婦人も葡萄酒やビールを飲むものが多い其中て偶に酒を飲む者、常に少量を飲む者、常に稍多く酒を飲む者及び常は大量を飲む者と此四通りに區別すると、偶に飲む者には乳の出るのが多い、乳の出ない者は少數である、それから常に少量をむむ者と偶に飲む者とを比較すると偶に飲む者の方に乳がよく出る、それから常に稍多量を飲む者と大量を飲む者、此二者には乳の出ない者が多い。又本人は飲まずとも親が大酒家であれば其子の乳の出方が少い、從て自らの乳て子を育つることの出來ぬものが多くなる のがあります。

酒害の子孫に及ぼす所の影響、此は實に意外に大なるものである、千八百六十四年は葡萄の豐年であつた葡萄の能く出來た年には葡萄酒も澤山に出來る從て葡

葡萄酒が頗る廉いから、自然に多くの人が澤山に之を飲みました、處が其年に出來た子供はどうも他の年に出來た子供よりは精神が鈍い、身體が弱い何しても健全でない子供が多い、此年に生れた子供が學校に往くやうになつてから、學校の先生が何う云ふもんか今年の生徒は成績が皆んな惡い、不思議だと云ふので段々調べて見ると、丁度其子供の出來たのは六十四年で諸人か澤山葡萄酒を飲んだ年で親の飲酒が子に報いた其結果が數年の後に其子供の精神發育上にさう云ふ影響を來たしたと云ふことが分つたのであります、それから智恵の足らぬ子供のことを「あれは六十四年生」かと云ふやうに一種の流行語が出來ました、六十四年生と云へば乃ち智恵の足らぬ子供と云ふことになります、今一層確實なことは白痴院にて、統計的に依て調べて見ますと親の飲酒と白痴との關係がよく分ります白痴は飲酒家の子に多い、計りでなく孫にも多い即ち二代三代或は四代の後まで其影響を及ぼすのであります。

酒客の家族に付て、其の子供に及ぼす影響を調べますと、彼の家族に較べて神經衰弱が多い、又癲癇が多い、是も飲酒の間接の害で、飲む本人は酒を樂みに飲んで人に害を及ぼさないと考へて居つても、其害は此の如く遠く子孫に及ぶのでありますから此事に氣が付いたならば何人も酒を飲むに就ても又之を人に飲ますにしても餘程考へを要することであります、此關係は唯だ其家族だけでなくして廣く社會に行渡つて來ますと、是が社會の不健康の原因となる又此不健康なる社會が集つて國を成せば其國の不健康も亦推知するに足るものであります、其影響は兵力の上にも又一國の生產力の上にも及ぶ國家の一大事であります不具な子供や精神の鈍い子供は一人前の働きが出來ませぬから一人で數人位の手間を潰す頭數が多くあつてもそれ丈は又生產的の人で即ち國力を弱くする人であります、初めは些細のやうでも一杯一杯又一杯と積る盃の數々が、遠く及ぼす影響を見ますと實に恐るべく驚くべき重大な影響であります。

酒害の著大なることは上來述べ來りたる如くであり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ますから吾人は吾が日本國民の飲酒上に大に警戒を加へて其害の未だ著大ならざる間に之を豫防する方法をよく講究しなければならないことゝ思ひます歐羅巴や、亞米利加では既にその害の著しかった爲に酒害を豫防することに今日は識者が非常に熱心に盡力致して居ります。婦人の熱心亦盛んなものであります。

日本では婦人は餘り酒は飲まぬ是は眞に美風であります、が海外へ往つて居る婦人の中には一二杯の葡萄酒を平氣で飲み得る人もあつたやうだが是は即ち歐羅巴風に惡化したので決して善いことではないのてあります、さう云ふ人が日本に多く成つて來ると古來の美風を破ることの患がある希はくは歐羅巴の婦人をして日本の此不飲酒の美風を眞似させたいものではありませんか歐羅巴では今日其風の惡いことに氣が付いて心有る人々が其弊を矯めやうと盡力して居る時てあります是迄の習慣ですから酒は出してはありますが、決して無理に勸めは致しませぬ、私は酒を飲みませぬと云へば直に他の飲物をついて呉れますさう云ふ工合に歐羅巴では飲酒の風俗改良に努めて居ります。

底て私が御一同に希望するのは先づ第一に將來の日本國民となる所の青年には成る丈飲酒の習慣の付かぬやう御心配あらんことを希望致します、是は男子の力よりは婦人の力に依賴する方が有効であらうと思ふ、第二に婦人は人口の上から云っても五千萬人中の約半分は婦人が占めて居りますし殊に家庭の實力は男子よりも婦人の方に多くありますから其婦人が單に我子のとのみ思はず是が同時に未見の日本國民を飲酒の惡習慣を救濟する一大社會事業である國家に最も有益なる風俗改良の實行であると云ふことに御考あらんことを切に希望致します。

私は酒の利害に付ては豫てより深く感じて居ます、故に今度西洋へ參っても酒害豫防のことに付ては比較的に多く見て參りました、書物なども獨逸語で書いたものは殆ど有だけ取つて來ましたから、今後も酒の利害のことに付ては及ばずながら社會の爲め國家の爲めに努力する積りでありますが私は主として御婦人方と

青年少女とに最も望を屬して居る次第でありますから何うか飲酒の風俗を改良し實行するに付ては皆樣の協同一致の御盡力を願ひたいのであります、私は四五年前大學の通俗講談會で酒に付て一場の講話を致しましたことがありますが、其影響は意外に著大でありまして思はぬ所から感謝狀等が澤山參りました、此頃も岡山の監獄から私の演說筆記の摺物を囚徒に見せたらそれが、大層役に立つたと云ふ禮狀が來ました、何は兎もあれ角もあれ、何とかして將來の日本國民をして此の酒害より免がれしめたいと云ふのが私の希望でありますから又他日機會がありましたならば申上げることに致します、今日は餘り長くなりますから此位に致して置きます。

ルート夫人の書簡　（スマート譯）

拜啓
大會の皆々樣より婚禮の御祝儀としてパンペテン姉には御托し御惠與被下候美はしき賜物は二三週以前に慥かに落手いたし申候歸國の際にも何かれとなく御心配被下候にも不係いままた斯樣なる御親切に預り何と御禮の申上樣も無之候御送り被下候掛物は私共の客間の第一の裝飾品として絕えず貴國の美術と諸貴姉方の御親切を思ひ起さしめ申候皆々樣の事は常に忘るゝ事も無之遙かに祈を以て祝福を求め居候スペンサー氏へ申上候通り當地本部よりも近き中に誰れか派遣いたされ候運に相成る事と存居候皆々樣には主義の爲め非常に御盡力の當本部役員は勿論私共の深く感謝いたし居候事に候上帝の御加護の永に貴國と貴會の上に佑かならん事と祈り上候
私共はおかげ樣にて每日互に尙ほ相たすけ慰めつゝ樂しくくらし居候間お喜び被下度當國に御出の事も有之候はゞ是非とも御立ち寄り被下度幾日にても御歡迎可申候間必ず〳〵御忘れなく御出被下度御待居候重ねて皆々樣の御厚意を深く謝し奉り候草々

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

函館の火災に義捐せられし諸氏に

諸氏の御同情により集りし金品はとりまとめ既に先方に送り申候物品は四個(箱詰)金圓は七圓にして先方より鄭重なる謝状會頭宛にて參り申候間一寸御報告申上候尚ほ引きつゞき募集いたし居候間至急御思召有之候方は會頭まで御屆け被下度願度候詳細なる報告は次號に讓り申候草々

青年部欄

○東洋英和女學校　去る十月二十三日水曜日午後三時より本校講堂に於いて例會を開く

此の日重なる議事は會長橋本氏既に滿期なるを以て辭表を提出せられたるに由り後任者撰擧の必要を認め山本書記議長席につき之を執行す水野菊子當撰せらる。

直ちに新會長の指揮の許に左の數件を議決せり。

一、花の課に課長を置きマグドナル幸子を此れに任ずる事。

二、風俗課に課長を置き金子繁惠を此れに任ずる事

但し以前より該課の設置はありしも課長なかりし爲め其働甚だ微々として有名無實の姿なりしが會長の變更と共に各課を置き前に倍する熱心を以て會員一同之れが爲め盡力せん事を誓ふ

本會にては左の數件に付き計畫しつゝあり

一、幼年禁酒軍を麻布本村孤女院内に設くる事

二、每月一回麻布區内の當校各日曜學校に於いて禁酒の月的を以つて教授する事

三、本校庭内に花園を設け花の課委員之れが培養の任にあたり以て本課の用に充つる事

○仙臺市自助館青年婦人矯風會　當館矯風會は明治卅六年十一月より始りしにも拘らす卅九年七月までは本部義務金も納ざりしが卅九年七月大會の節始めて本部に連絡する事となり以後微々たる幼兒の如き會ながら尚存在しつゝ、幾分の働きとなしつゝあり依って左に卅九年九月よりの實況を概略報告する事となせり、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

卅九年九月十八日例會本會に於ては重に事務執行後大會に就き互に隨感を述べ尙右により會の成長を計らん事を語り會へたり、

十月十五日我矯風會事業視察を兼ねて本邦戰後の婦人及び日本を視察せん爲め巡歷中なりしミス、プラント來館せられ「アルコール」と鷄卵の白味の實習をなして酒害を說かる一同大に益せられたり

同午後三時例會を開く當日の重なる事務は副會頭撰擧並に風俗懸賞文學の兩課を新設する事にして副會頭は千葉先生當撰せられ以上二新課は設置する事に可決し續て副會頭の指名により松原正代姉、風俗課長に、宍戶登理子姉懸賞文學課長に任ぜらる、次に會長指名により相原いなよ子姉徽章掛に任ぜられたり終に新入會員を募集せしに六名得感謝に充ちて散會せり

十一月廿三日例會當日は例の如く禮拜及び事務執行の後石田六郎氏の「常に喜ぶべし」との題に付きての演說あり氏は基督敎か如何に佛敎儒敎と反し婦人の位置を高め喜ぶべき特權を與ふるものなれば婦人は自らの責任を深く感じ世に對し盡す處なかる可からずとの意を熱心に述べられたり（以下次號）

小事に忠實なれ

東洋英和女學校　Y

曾て米國の一法律家議事堂に於て演說の際傍聽席の一偶より起りし汝の前身は靴磨なりしに非らずや」との罵詈に「然り余は靴磨きなりき而して常に之を忠實になしたり」と從容として答へしと云ふ。則ち彼をして其日あるに至らしめし成効の秘訣は忠實に靴を磨かきたりし當初の精神の萬事に及びしに由る。

例へば假初の室の掃除をも眞實になす人は凡てに於ても又斯くの如し。我等の天父なる造物主は異なる樣々の目的を以て凡ての人を造り給へり使徒パウロ羅馬に送りし書の中に曰く「即ち我等一つ躰に多の肢あれども皆その用を同じうせざるが如く各人キリストに於て一つ躰たれば亦互に其肢たるなり然れば賜はる所の惠にしたがひて各賜を異にせり」。我等の中或ひは社會の活舞臺に立ち現らはれ人目を驚ろかすに至る大事を爲

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

し得る人あり或ひは取り立て丶何の才能も無きが如く見ゆる人あり而かして兩者ともに全能の父の同じ御手によりて造くられしものにて天父は兩者に等しく期待したまふところあり。されば造られしものは只其義務を忠實になすを以て足れりとす、嘗つてキリスト其譬話の中の僕を稱讃するに「汝善且つ忠なる僕よ汝の主人のよろこびに入れよ」の賛辭を以てしたまへり
吾等青年會員の多くは學生にして未だ社會に立つて矯風の大業にたずさはるに至らずと雖も日常の學校生涯に於て猶ほ且つ神の榮光をあらはすに足る働を爲し得ると信ず
吾等既に撰ばれて神の子たり。而かし汚れたる世を匡正して聖旨を世に布かんと志すものいかでや定めなき毀譽褒貶等に心動かす可き千代の礎なるキリストに信仰の基を置き奮勵一番各自の小社會に於て如何なる小事をも忠實になさんとす

矯風會通信

○本部消息、矢島會頭には病氣未だ全快に至らざるを以て引きつゞき茅ヶ崎南湖院の傍に靜養されつゝあり吾等は本會並に教育界の重鎭たる會頭の長壽を祈つてやまざるなりまた數ヶ月間令息の健康のために同所に引きこもり居られし小崎會計には去月下旬健全なる御家族を携ひて再び靈南坂の住宅に歸られたり其の子等に限りなき恩寵を垂れ給ふ天の慈愛はいと讃むべきかな

○十一月一日午後四時より麻布區鳥居坂英和女學校々堂に於てスペンサー孃マコーレー夫人送迎會を開く小崎千代子姉司會のもとに讃美聖書朗讀祈禱後ち本多副會頭は本部を代表して送別歡迎の挨拶をなしハーグレブ孃も在日本西洋婦人矯風會を代表して同じく挨拶さる花の如き可憐なる幼き五人の少女の歌につぎスペンサー孃は立つて懇切なる答禮と奬勵を「邦語にて」なされまたマコーレ夫人同じく挨拶をなされ英和女學校

生徒諸姉の合唱ありて主の祈を以て閉會それより隨意に茶菓を喫し散會せしは五時半頃なりき

○弘前支部、七月十三日午後一時より白銀町スワルツ夫人宅に於て母の會兼同夫人の送別會執行同夫人の司會にて聖書朗讀祈禱讃美を以て開會し古澤姉の通譯にて夫人は米國の家庭の有樣及び自身の經驗談を述べられ續ひて告別の挨拶ありて後日頃嗜好の英語唱歌を獨唱せられ次に黑瀧なか子姉母の會を代表して謝辭を述べ夫より幼稚園の教師數名の合唱ありて吉澤とく子姉一同よりの紀念品を贈呈せられしに夫人には一同の厚意を大に滿足せられ厚き謝意を述られ同令孃等の（ピヤノ）合奏にて閉會夫人の厚意に爲れる茶菓を喫し各自おもひ／＼の雜談の内次回に慈善大音樂會を開く事を決議し散會せしは五時頃なりき

來會者　五十二名

○八月九日正十二時より東奥義塾講堂に於て慈善音樂會を開く當日の裝飾其他の設備はすへて青年諸氏の幹旋にて遺憾なく整頓せり定刻に至るや高谷とく子姉の開會の辭あり續ひて高杉つる子姉の紹介にて左の順序に隨ひ演奏せり

第一部

一開會の辭		高谷とく子
二唱歌おぢさん／＼		山鹿八郎　吉安秋雄
三箏	櫻狩	飯島としえ孃
四唱歌		女子有志
五オルガン偶奏	ヴエデングマーチ	山田たか子孃
六おはなし	音樂の力	工藤良八
七ヴアイオリン	次雨	小山敏彦氏
八唱歌		青年有志
九箏		奈良いく子孃
一〇獨奏		阿部義宗氏
一一尺八	下り葉	小野、岩淵、眞山、三氏
一二ピアノ		吉澤とく子孃
一三薩摩琵琶	櫻狩	櫻庭順三氏
一四ピアノ、ヴアイオリン（リンツプリユーバールドリンクマーチ）		吉澤、小正二氏
一五箏		奈良いく子孃

第二部

一合唱		青年有志
二箏		奈良いく子孃
三獨奏		ミス、グリフエス
四オルガン獨奏	ヴエスパーヒム	阿保ふみ子孃
五唱歌	あはれの孤兒	高谷はつゑ孃

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

六ヴァイオリン等　小山敏彦氏
七唱歌　會員の子供二十一名
八尺八　獅子　小野、岩淵、二氏
九、ヴァイオリン　小野の山　奈良、小山、二氏
一〇ピアノ　吉澤督子嬢
一一ヴァイオリン　櫻　小山敏彦氏
一二薩摩琵琶　臺灣人　櫻庭順三氏
一三閉會の辭

特に當日は幸ひにも東京女子大學教授佐藤左久先生にはこの催しを賛成せられ數回出演せられしを以て一層の盛會を極め滿場立錐の餘地もなく千余名の來會者を見るに至りしは畢竟先生の御高配に依る事と一同深く感銘に堪へざる所なり

當日の計算

一金壹百〇七圓拾貳錢也　總收入高

內譯

一金壹百〇四圓拾錢也　入場券代
一金參圓〇貳錢也　會員諸姉の奔走盡力になれる菓子、氷水の販賣利益
一金參拾參圓〇七錢也　諸入費支拂高

差引純益金を左の通り分配寄贈せり

一金七拾四圓〇五錢也　差引純益金
一金參拾圓也　學生青年會へ
一金拾五圓也　市の窮民救濟費
一金拾圓也　市の孤兒院
一金拾五圓也　(若葉幼稚園)(養生幼稚園)
一金四圓〇五錢也　母の會費用

九月十六日元寺町の教會堂に於て臨時役員會を開く當日は函館火災の慘狀聞くに忍びざるより當會にて應急の救濟をなす事につき相談の結果會員其他博く同情者より古着募集する事に定め夫より役員一同東奔西走せしに豫定の一週間にて衣類一百餘點正金六圓六十五錢其外筆墨紙手帳書籍類二斗入梅漬等を集め直ちに慰問代表者として助川あい子姉を撰定し荷物と共に渡函するや函館支部會長三谷小梅姉の厚意にて數日間滯在の上同會々員の案内にて翌早朝より市內谷地所其外寺院の各避難所を訪問し實情調査の後物品を適宜に分與しければ何れも未だ身には薄き單衣などを纏ひ北海の冷氣に堪へ難き折柄我會の早くも茲に着目してかく迅速に防寒具の一品なりとも分配に預りし事なれば其喜びは一方ならず特に病人老人などは喜び餘りて只落涙する而已なりき就中救世軍の收容したる婦人團躰あり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ては火災後殆んど食ふに食なく着るに衣なき有樣にて如何とも致方なく偶々三谷姉を訪問したる折から助川姉の今や荷物を開かんとするに會し其窮狀を訴へければ直ちに同情を表して其衣類物品數點を分與せしに士官には非常の喜悦と感謝の狀面てに顯はれしとぞ其他諸教會の紹介せる罹災者及び會員の數名にも與へしが追が會員は他の罹災者にたとへ一枚なりとも多く分與せんとて自身の窮狀を顧みずして他を想ふの念深く實に其美しき志には感嘆に堪へざる所なり

十月八日午前九時半より新築若葉幼稚園に於て入園式兼矯風會母の會の連合會を開く當日は吉澤とく子姉司會の筈なりしが新入園者の世話に忙がはしく代りて高谷とく子姉司會の下に開會の挨拶あり阿保ふみ子姉の奏樂司會者の聖書朗讀山鹿牧師の祈禱ありて後新入園者の母方に尤も必要なる母の會幷に矯風會を紹介をなし續ひて今回監督の職務を帶びて幸ひ當地に巡回せられたる本田庸一先生を紹介し直ちに先生の演說に移る氏は米國と我國婦人の長所と短所とを擧げられ模範的の賢母良妻としてジョン、ウエスレーの母スザンナー、ウエスレーの美談を綿密に語られ我國婦人も亦宜しく同夫人に鑑みて柔順にして慈母たるのみならず確固たる精神を養成するの必要を熱心に勸められ一同大に裨益せらる後園兒の遊戲數回茶菓の饗應ありて散會せしは午後一時頃なりき

來會者百四十名餘にして盛會なりき

○上毛婦人矯風會大會　十一月十四日午前十時より縣下多野郡藤岡町綠野教會堂に於て上毛各支部聯合大會を催せり前橋婦人矯風會々頭堀あい子姉の司會のもとに讃美、祈禱、詩篇朗讀次にミスグリスウォールドの獎勵あり其より各支部の報告に移り安中婦人矯風會頭中村梅子姉原市町代員半田老姉富岡町代員金澤夫人高崎矯風會會頭星野清子姉前橋代員松宮はる子姉の各支部に於ける報告ありたり各地とも我婦人矯風會の活動は世人より注目せられ居る事を報告せられたり次て三四名の姉妹の熱心なる祈禱及前橋婦人矯風會員松宮しん子姉の感話あり次に議事に移り議決せしは一、今回よ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

り上毛婦人矯風會聯合大會の記事をつくること、二、新任知事南部光臣民就任の祝辭にかへ我上毛婦人矯風會より聖書を贈ること其委員として堀愛子、星野清子、松宮晴子の三姉を推すこと、三、明治四十五年の本部計畫の事業のため我上毛婦人矯風會より寄附金を募集し送ると但し來春一月迄に堀愛子姉の手許へ屆くること、四本部事務所建築に就ては各支部の集會毎に出來得るかぎり幾分つゝにても集めて寄附すること、一來年の大會は原市町にて催すこと等にて一同主の祈を以て閉會す來會者三十有餘名なりき

婦人大會　同日午後二時より婦人大會を開く司會者松宮しん子、辯士は小林富次郎、野口末彥の兩氏にて小林氏は歐米視察と余の所感、野口氏は矯風上の注意點の題によりて最も有益なる演說あり一同に非常なる感動を與へられたり來會者數十名なりき

○前橋支部　十月十九日午後二時より正木重野姉宅に於て役員會開議決せし件は一、例會は十一月二日敎會堂にて開會二、研究問題はコロサイ書三〇十二―十七中より各自の所感を述ぶる事、三、グリスウォールド姉に演說を乞ふ事、四、十一月例會の時何か働きをなさんとの議を提出する事、

氣清く心自づから澄み渡り各自神の聖旨を默想するに好時節なる十一月二日午後二時に我が前橋支部例會を開く祈禱讃美聖書、記錄朗讀、會計各課長の報告を以て後グリスウォールド姉の謙遜と云ふ題のもとに人として眞に謙遜である事は人生一番の美事で又必らず爲すべきの事なれど之れ實に云ひ易くして行ひ難き事なり然し如何にせば眞の謙遜の人となり得るかとの問に對しては第一、神の聖旨を誠實に行なふ事、二、己の心のすべての敵に打ち勝つ事、三、幾度となく我れをキリストに比較する事此三ヶ條をつね〲我等の胸あてとし心の帶として己をかへりみ他人を傷けぬよう神の聖旨のある處を心靜かに考へて行ない得る人は眞の「謙遜の人にして神にも人にも又己れにも有益なる人たるなり……」との眞實なる御勸を伺ひし後研究問題に就いて一二名の所感あり次いで主の祈りを持つて

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

散會せしは三時半頃なりし。

○横濱支部　十一月十一日定刻より指路教會に於いて開會
會長二宮姉の祈禱聖書朗讀並に勸話次て會計書記の報告ありて直にさの件を決議す

一、本會從來の働を改めて傳道課、花の課、交際課の三課とし極力之に當らんことを約し左の諸姉を擧く

一、傳道課
林たね子　神保榮子　河田のぶ子
二宮わか子　小澤き代子　毛利かほる子
有馬なか子　加藤とみ子

二、花の課
石井きよ子　岩間なか子　茨木さと子
里吉きん子　中村とよ子　大橋しげ子
井澤とせ子

三、交際課
雪野勇子　稲垣すえ子　北島ふさ子
笹倉姉　中村とよ子　金田ぎん子
八戸つな子　安藤まさ子

一、今後第三月曜日を各課の働日と定め各委員に於ては便宜の方法を以て働をなすべき事

一、右委員にして本日缺席せられし向へは大橋姉より通知書を出さるゝ事

一、會員は成るべく傳道或は慰問等を要する場合には其何人たるを問はず直に相當の課に申出られ度事

右了て一同主の祈を以て閉會し後茶果を喫して各自散會す

○大阪支部　十月廿六日土曜午後二時より中之島婦人ホームに於て秋季祈禱會を開く傳道課長宮川夫人司會にて讃美歌聖書朗讀祈禱の後長田牧師馬太傳六章につき傳道事業の尤も急務なる事殊に下層社會に神の道を傳へん事吾等凡ての撰ばれたるものゝ目下に必要なる責務たれば諸姉の尤も玆に注意せられん事を熱心に勸められたりと

當日集會員は六十三名

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十一月十六日土曜午後七時より土佐堀青年會館に於て矯風演說會を開く風俗課々長馬場夫人司會にてウヰルミナ女學校々長モルガン孃の奏樂にて開會せられ詩の百四十六篇朗讀祈禱の後本會の主意及び開會の辭を述べられ豫て招待せし高等商業學校々長福井彦治郎君の衛生と品行といふ題にて着實なる實驗談を一時間半許懇切に述べられモルガン孃獨奏の後大阪教會牧師宮川綱輝君の大阪市の矯風といふ題にて諄々雄辯を揮ひ大阪市民が大阪市を愛する目的を一層高尙に品位を增進せしめ、社會の不潔を惡むと共に之を市外に退け日本全國中模範的都府たらしむるやう爲すべきは吾等國民の義務なれば吾等基督信徒は勿論矯風會員の如き働きにより充分社會の惡魔と戰ふ事の必要をとき來會の諸君も同情を以て扶けられん事など愉快に談ぜられたり當夜聽衆百五十名計なれば始終倦怠の色なく實に靜肅に謹聽せられしは感謝いたす處なり

會報

過日副會頭長田姉を堀内病院室に訪ひしが目下追々軽も治り心地よくなられしは全く神の御惠みと感謝致し尙全き身となり一日も早く退院せられん事を祈る

林會頭其他役員もホーム財政の件につき日々運動中住友家五百圓緒方正淸君百圓は已に寄附落掌したれどまた來る年會迄には是非何等とかいたさゞる可からず吾等は會友諸姉と共に上帝に祈り求めざる可からず

（年會は十二月七日午前九時よりホームにて開き升）

入會者

高見てる　弓波しづ　古木ため
江坂安代　若田まさ　黑石直江
加藤千代　永井うめ　九條教會教師 二宮平次郎
瀨成田しつ　宇多しげ　齋藤市次
田中きく　平井枝茂　田長喜美、
ミセスオルチン　眞鍋民枝　船橋ひさ
山田鈴子　加古幸　島田なつ
江見房　坂本しん　村田みつ
高木照美　坂井よれ　江口みどり
宮尾乙女　門田安　大阪教會副牧師 森山寅之助
橋本すな　村上おとぎ　渡邊ふみ
尾關とく　高見あさの　鈴江てい

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

須藤うめ　松井千代の　阪口せい
竹村しま　守屋晴　井上よし
井上きと　阪口ちく　松原郁代
橋本かれ　合計四十六名

ホーム報告　十月分

看護婦四名　保姆一名　上女中五名　普通女中九名
御影大久保侯爵家へ二名　東京某氏へ一名
總計二十一名

外に商家の主婦にて勉強せんため先方の周旋を依頼され都合よく周旋せり寄宿は四名なれど信者の方にて逗留人折々來られ毎夜家族の祈禱會を開く

ホーム用件にて取扱ひし郵便十月分封書卅六通端書四十六枚其他依頼者平均一日七名位

主任　林　より子

ホームの現況

相不變申込人多きに對し被雇人少數なれど始めより已に六十五名は目下落付奉公せりホームより出てたるものは雇主方にても尤も心して下さる樣なれど凡て良好の成績にて皆ホームを眞の親許の如く思ひ居る事は婦風會員の満足する所であります私方にも一人ホームより參つて居りますがホームの方の親切を感じ居ます故時々林主任より手狀のはじに書加へられる事は餘程注意いたします又毎夜日記なんど怠らず書き國許へしらせて居りますホームより奥田さんでも參られると肩幅廣くなるやうの心地するといふて喜んで居ります來年一月にはホームの友の會合をして皆主家に賴んで一日愉快に遊ばせ度存じますホームの友の會費は僅か一ヶ月五錢宛でありますか已に六圓以上になつて居升とか此金はホームの友會長小山みつ子姉擔當せられます

婦人新報代領收證

横須賀支部（六月迄）大坂支部（九月迄）名古屋支部（六月迄）平林よし子（十二月迄）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ジェームスアトキンス原著、大谷虞君譯

◯兒童の宗教

定價四十錢　郵税六錢

搖籃の中神の王國あり、眞正の宗教的品性は家庭に據らざるべからず。是れ本書の主張なり。「小兒を我に來らしめよ」と言へる基督の本旨世に閑却せられたること既に久し。現世紀に至り小兒は漸く世人注意の中心となれり。本書は近世的兒童研究の精華を集めて之に論據を置けるものにして父母、教師等兒童教育の責任に當れる者の一大指針たり。

樞密顧問官　男爵金子堅太郎君述

◯國家存立の原則

定價十錢　郵税二錢

本書は先生が青山學院に於ける大演説筆記なり

島田三郎君演説

◯酒禍の實驗

定價一冊五錢五　郵税三冊迄二錢　十冊以上二割引

先生が實驗せられたる酒害に就ての大演説の筆記なり

美山夫人　田中榮　兩女史共譯

◯七日間

定價三十五錢　郵税四錢

通に迷うた人の子が、たふとい愛の御力に依て救はるゝ世にも美はしき物がたりを、優しい筆に寫したる此の書は今の家庭の讀物として極めて適當ではありますまいか。迷ふ人も救はれた人も是非一度は御讀みなさいませそして此の一冊の中に深い教と盡きぬ慰めとを御見出しなさるならば譯者兩人は苦心空しからぬを喜ぶで御座いましよう

根本正君譯

◯日日の力

定價布金五拾錢　同紙金參拾五錢　郵税金六錢

◯本多庸一先生 **説教集**　定價金六十錢　郵税金八錢

◯青山學院教授　山田寅之助先生著　埃及聖地 **旅行談**　定價金五十錢　郵税金八錢

◯佐藤廣吉君著 **平和之福音**　定價金四十錢　郵税金六錢

◯神學士田中達君譯 **人の運命**　定價金二十錢　郵税金四錢

◯疋田彰爾君著 **小供のため**　定價金二十錢　郵税金四錢

◯岡野敬胤君編 **少年週話**　定價金二十五錢　郵税金四錢

◯古谷新太郎君編 **はなしの園**　定價金二十五錢　郵税金六錢

◯碧川企救男君著　小説 **野の百合**　定價金二十五錢　郵税金四錢

◯スワーツ先生著　英和對照 **聖書の文學的研究**　定價金四十錢　郵税金六錢

東京市京橋區銀座四丁目壹番地　内外書肆 **教文館**（電話新二五二六）（振替一一三五七）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

▲新刊書▼

明治四十壹年用

吾家の歴史

吾家の歴史は一日を往來、爲したる事、得たる思想、社會の出來事、雜事の諸欄に分ち、詩歌と、格言と、殊に其日に起りたる歴史上の事實を記載したるは趣味頗ぶる至れりと云ふべし、卷頭に、結婚、誕生、永眠等の家眷錄と其他の便覽を付したり、其用意の周到と注意の綿密なる蓋し稀に見る處の日記簿なり

定價 折皮九拾錢 布四拾錢 郵稅六錢

合本製本頗優美 定價五拾錢 郵稅六錢

基督の聖訓

前篇 基督の人訓 牧野虎次著 定價金拾錢 郵稅二錢

後篇 基督の靈訓 宮川經輝著 定價拾錢 郵稅二錢

著者兩人が本書著述の由來を誌せる緒言に曰く

『過る初夏の候、同人數輩卓を圍んで相語る、談會ま基督教書類の欠乏に及ぶ。予等提言して曰く、乞ふ隗より始めよ、幸に我に一週間の閑暇を與へば、兩人相携へて山に入り、俗塵を離れて心身を之に捧げ、聊か協力執筆する處あらんと。座に一教友あり、忽ちこれに應じて曰く、その著作に關する費用一切は乞ふ之を辨ぜん、必ず決行する處あれと、約諾立ろに成れり。

約に從ふて七月下旬、兩人筆を載せて有馬に至り、浴客の雜鬧を避て故らに客舍を山麓緑陰の間に撰び、夙に起き夜半に寢ね、他念なく勵みて筆を執り、倦ば出て清風に嘯き溪流に掬び、歸れば則ち机に向ふ、孜々として務むること五日、稍にして本書を稿了することを得たり。此書幸に斯道に志す人の補益となるを得ば、前述教友の賜なり。』

斯の如くにして成りたる『基督の人訓』は山上の説教を現代の思想によりて解釋したるもの、『基督の靈訓』は心靈の向上に關する基督の教訓を、順序的に講述したるものなり。共に求道者必讀の書にして、又信者修養上の好侶伴たり、傳道界多事多望の今日、茲にこの好著を公にするを得るは、豈啻に吾人の幸福のみならんや。

ゼー、デー、デビス博士著 基督教倫理學綱要 定價拾錢 郵稅二錢

ゼー、デー、デビス博士著 基督教の根本問題 定價五錢 郵稅二錢

發兌 東京市京橋區尾張町二丁目 警醒社書店 (振替貯金 五五三番)

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百廿七號
(毎月一回發行)明治四十一年十月廿五日發行

東京市京橋區西紺屋町二十六七番地　株式會社秀英舍印行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA